



第18-85号

2018年10月30日

木と緑に溶け込む「杜」の玄関口に生まれ変わります
参宮橋駅の改良工事を実施します
～2018年11月着工、2020年9月リニューアル予定～

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：星野 晃司）は、2018年11月から駅舎の建て替え工事を含めた、駅改良工事に着手します。

参宮橋駅は、代々木の杜に佇む明治神宮への最寄り駅であり、明治神宮本殿までは徒歩約9分の場所に位置しております。代々木公園や参宮橋公園など駅付近は大きな街路樹や植栽にあふれた環境となっております。

今般の改良工事では、『木と緑に溶け込む「杜」の玄関口』をコンセプトに、駅周辺の環境との共生を図りながら木の温かみを感じられ、地域の皆さまやお客さまから愛され親しまれる駅を目指します。駅舎の外装を一新するほか、駅前空間の面積を拡大し、トイレを全面リニューアルするなど、機能性を向上させることで、より便利で快適にご利用いただけるようになります。



改札口（イメージ）



ホーム（イメージ）

参宮橋駅改良工事の概要は下記のとおりです。

記

1 対象駅舎 小田急小田原線 参宮橋駅

(所在地：東京都渋谷区代々木4-6-7)

2 リニューアル概要

(1) 駅舎

建物概要

延床面積 110㎡ (約33坪)

構造規模 鉄骨造 地上2階建 (現平屋建)

※駅舎2階部は駅務室として使用します

(2) 上下ホーム上家

現在のスレート屋根 (※1) から折板屋根 (※2) に変更するとともに、上家やホーム壁面等に木材を使用することでホームの快適性を向上させます。

※1 薄い板状の、粘板岩を加工した屋根材

※2 金属製の耐久性に優れた屋根材

(3) 跨線橋

外壁および階段床石を改修します。

(4) ラッチ外コンコース

現在の駅前空間を広くし、滞留スペースを創出します。

(5) トイレ

女性トイレを洋式化するとともに手洗い箇所を増設します。

3 工事期間 2018年11月着工、2020年9月竣工 (予定)

【参考】参宮橋駅の概要

1 開設日 1927年4月1日

※ 現駅舎は1970年から使用開始

2 平均乗降人員 15,546人/日 (2017年度)

以上